

令和3年度 天神川水害タイムライン検討会 第2回検討会

議事概要

(日 時) 日時：令和3年12月7日(火) 14:00～

(会 場) 倉吉河川国道事務所 会議室 (一部機関 Web 参加)

(議事内容)

- (1) 開会挨拶
- (2) これまでの振り返りと本日の位置づけ
- (3) 令和3年度の出水概要について
- (4) 天神川水害タイムライン運用に関するアンケート結果について
- (5) 天神川水害タイムラインの見直し方針について
- (6) 意見交換
- (7) 総評
- (8) 今後のスケジュール等について

1. 会議概要

令和3年度の出水期では天神川水系でも避難判断水位を超過するような出水があり、タイムラインの立ち上げを行った。そのため、タイムライン運用を踏まえて、タイムライン運用時の課題整理や今後の見直し方針を検討するために検討会を開催した。

検討会では、事前に関係機関へ実施したアンケート結果の紹介やその結果を踏まえた見直し方針の説明、意見交換を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から web 会議方式との合同開催とした。

(1) 開会挨拶

座長の三輪教授より開会の挨拶を行った。

【座長 (三輪教授)】

今回は、今年度2回目の検討会であるが、第1回検討会では、天神川水害タイムラインについて2点の見直しを行った。

1点目は、タイムラインの立ち上げのフローを明確にするというもの。2点目は運用支援システムの改良で、この2点を見直し、今年度の出水期を迎えた。

今年度は天神川水系でも出水があり、この際のタイムラインの立ち上げを振り返る

ために関係機関の皆様アンケートのご協力をお願いした。アンケートで様々な意見を頂戴しており、これらを基に、次のタイムラインの運用についての改善方法や方向性について議論していきたい。

(2) これまでの振り返りと本日の位置づけ

事務局からタイムラインの検討経緯や本日の会議の位置付け、出水期前に実施したタイムラインの修正概要（タイムライン立ち上げフローの明確化、運用支援システムの改良）について説明した。

(3) 令和3年度の出水概要について

事務局から中国地方整備局管内の河川や天神川水系における令和3年度の出水の概要について説明した。また、令和3年7月の出水時に撮影された動画等により、天神川の危険性や水位上昇の早さについて共有し、事前の準備の重要性について再確認した。

【座長】

今年度は、何回タイムラインを立ち上げたか。

【事務局】

今年度のタイムラインの立ち上げは2～3回と思われるが、正式な回数は確認する
※今年度は立ち上げ回数は計4回立ち上げた（7/8、8/8、8/13、9/16）。

(4) 天神川水害タイムライン運用に関するアンケート結果について

タイムライン運用に関するアンケートの結果（タイムラインの活用状況、タイムラインの修正の必要性、その他要望等）について事務局より説明した。

(5) 天神川水害タイムラインの見直し方針について

アンケート結果を踏まえたタイムラインの見直し方針として、詳細版・総括版の修正、運用支援システムの更新について説明した。

(6) 意見交換

【事務局】

- ・ 運用支援システムにおけるタイムラインレベルの表示について、現在は、万が一事務局によるメール配信が遅れた場合でも関係機関が把握できるような仕組みとしている。関係機関から現在のタイムラインレベルが分かるようにしたいという要望があったが、その都度メール配信に加えて HP へのアップロードが必要になるため、洪水予報等の対応に加え、一般からの問い合わせなどへの対応もしている中で作業となり、表示の遅れをある程度許容していただくことを前提になるが来

年の出水期から試行的な運用を検討したいと考えている。

【警察】

- ・ 警察では、洪水等による被害についてどの時間にどのような被害があったのか等の記録を残す作業を実施している。運用支援システムの情報もいつ更新されたものかという時間表示があれば、関係機関もいつ時点の情報か参考にしやすいのではないかと思う。

【事務局】

- ・ ご意見の通りで、何時時点の情報か明記することで誤解も生じにくくなるため、情報の発表時間の表示方法について検討する。

【事務局】

- ・ 今年度の出水時に現場確認が必要な箇所があったが、通行規制箇所をスムーズに通ることが出来ないことがあった。県道や市道で浸水している可能性がある箇所を通行規制しているため当然の対応だが河川管理者が通る場合は通行を許可するなどの協力をお願いしたいが可能か。
(通信不具合で鳥取県中部総合事務所より回答できず)

- ・ 昨年日本海ケーブルネットワークとカメラ映像に関する協定を結んでいるが、例えば鳥取中央有線放送ではそのような取組は検討しているか。そういった検討をしている場合は倉吉河川国道事務所としても協力可能である。

【鳥取中央有線放送】

- ・ 制作担当が欠席しているため、社内で確認させていただく。連携できるのであればお願いしたい。

【鳥取県河川課】

- ・ 今年度の国府川のような内水被害が発生した際には、通行状況や内水ポンプ等による排除作業は、タイムライン上どのような情報共有を実施することになっているのか。

【事務局】

- ・ ポンプ車等の出動については基本的には担当市町とのやりとりになる。
- ・ タイムラインについて総括版をみて説明するが、内水排除に関するやり取りはホットラインに含まれ、ホットラインの中でこのような情報共有がある。
- ・ ポンプ車の出動等については、タイムラインレベル3で待機出動等がある。

【座長（三輪教授）】

- ・ 運用の中で「もう少し改善したい、こういったことはどうだろうか」等の意見が出

てくると思う。今すぐに答えは出ないかもしれないが今後も意見をお願いしたい。

(7) 総評

【座長（三輪教授）】

意見交換の中では貴重なご意見をいただいた。実際の運用の中で、うまくいかなかったことが次の対応方法になると思う。

そのため、完成するということではなく、以前も申し上げたが、我々が日々対応していることを少し先に進めようと皆が思うことが、システムとして有効に機能することになると考えている。

(8) 今後のスケジュール等について

本日の検討会の意見も踏まえて、タイムラインの見直し案を作成する予定である。その後、関係機関の皆様への意見照会を経て、来年の2月頃のタイムライン検討会で説明する予定である。

今回、「出水で苦労した点」で意見が出なかった機関も次回の検討会でも構わないのでまた頂けたらと思う。

以上